

4年間

新規事業
＜モデル事業＞

発達が気になる子どもと家族を地域で支える

—ESSENCEチームによる地域支援—

市町村

●乳幼児健診

子どもの発達の見立て

●乳幼児健診後

子どもの発達の経過を確認し、適切な支援につなげるとともに保護者の気持ちに寄り添った支援

●保育所

集団の中で日常的に子どもの特性に応じた支援

保健師

保育士

地域の病院
スタッフ

教育関係

その他

地域の支援者

スムーズな
就学への
つなぎ

必要に応じた
専門機関への
つなぎ

発達
の気
になる
子ども
と家族
が成長
を見守
られ、
安心し
て地域
で生活
できる
支援体
制を地
域内で
構築

＜事業の目的＞

発達 の気 になる 子ども と家族 を地域 で包括 的に支 える体 制の強 化

・地域の支援者（母子保健・保育・教育・専門職等）が、発達
の気になる子どもと保護者をサポートする、地域に根ざした支援体制をつくる。

発達 の気 になる 子ども に対する 支援力 の向上

・地域の支援者がESSENCEの視点を通して子どもをアセスメントし、
必要な支援につなげることができる人材になるとともに、保育所
における発達
の気になる
子どもの
対応スキ
ルの強化
を図る。

発達 の気 になる 子ども の支援 体制構 築の手 法を他 の地域 に普及

・子どもの発達をみる視点のひとつである“ESSENCE”を支援者と保護者
が共有し、早期に支援につなげる体制づくり。

・モデル地域で実践した地域の支援者との連携や発達
の気になる子どもと保護者への支援方法などを他の地域に応用し、
地域の実情に応じた支援体制の充実を図る。

（ESSENCEチームによる体制づくりの支援、保育所での支援方法につ
いて保育士対象の研修会を開催など）

ESSENCEチームがサポート

心理職
言語聴覚士 等

● **乳幼児健診に参加し**、保健師や地域の専門職の子どもの発達の
見立てに対して、スーパーバイズする

● 健診後、保護者が子育てや子どもの発達について相談できる場
（**親子相談会など**）に参加し、子どもの発達の経過をみたり、保
護者をサポートする保健師や地域の専門職に対してスーパーバイ
ズする

● **保育所を訪問し**、発達が気になる
子どもが安心して過ごせるため
の環境作りや、具体的な対応方法
等について、保育士や地域の専門
職に対して、スーパーバイズする

「ESSENCE-Q」（アセスメントツール）を使用

※支援者全員が、共通の視点（ESSENCE）で子どもの発達をみて、
何らかの支援が必要な子どもを見逃さず、支援する。

＜SV内容（例）＞

- ・教室の環境調整（視覚支援
や構造化等）
- ・コミュニケーションを促す
関わり方
- ・社会性を育む関わり方
- ・日常生活動作の教え方
- ・インテンシブラーニングの
要素を取り入れた支援方法
- ・集団場面での支援
- ・個別場面を活用した支援

他